

平成 31 年度授業改善プラン 保健体育科

大田区立大森第四中学校

平成 30 年度授業改善プランの検証

取組における成果と課題

- ・ 自己の課題を見付け、それに応じた取り組み方の工夫を意識して取り組ませる。
→学習カード等を活用することで、授業の目的を明確にすることができた。また、自己の課題に目を向け取り組ませることができた。しかし、課題に応じた取り組み方の工夫が不十分である。
- ・ 補強運動及び5分間走を通し、筋力・瞬発力・持久力の向上を図る。
→取組により、多少の向上が見られたが、依然として体力テストの結果に課題が見られる。今後も筋力、瞬発力、持久力の向上を図る必要がある。
- ・ 毎時間、学習ノート（プリント）を利用し、競技のルールや特性を理解させる。そして、生徒一人一人が自己の能力に応じた課題をもって、授業に取り組めるような環境作りに努める。
→学習ノート（プリント）を使用して競技のルールや特性の理解や自己の課題を考えることができた。しかし、毎時間、必ず学習ノートの記入時間を設定することができなかつたので、計画的に記入時間を確保できるようにする。
- ・ 体育分野においては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、オリンピック・パラリンピックに関する知識・理解を深める指導をしていく。また、各単元においても関連させながら指導していくことで興味・関心を高めさせる。
→各単元でオリンピック・パラリンピックに関する事柄や記録を話題にするなど、オリンピック・パラリンピックを意識する機会を増やすことができた。今後も継続して指導する。
- ・ 保健分野においては、近年の自然災害の増加にあたり、災害時の備えや避難の知識・理解を深めさせる。また、ケガの防止の観点から「ケガの原因と防止」「応急手当」の理解を深めさせる。また、性について興味を示す思春期の中学生に正しい性への理解をもたせ、異性を尊重し合う生徒の育成に努めていく。
→「自然災害への備えと避難」の中で近年の自然災害について端末機器を使用して学習できた。また、災害時のケガへの対応も含めて「ケガの原因と防止」「応急手当」の理解を深めた。また、「心身の機能の発達と心の健康」の中で、性についての健全な知識をもち、生命の尊さや異性を尊重する気持ちを養うことができた。

保健体育科の授業改善策

- ・ 今年度も、意見交換等を通し、『自己の課題に応じた取り組み方の工夫』を意識して取り組む。授業での取組がどのような目的で行われているのかを理解させる必要がある。
- ・ 筋力、瞬発力、持久力の向上に向けて継続的に取り組む必要があり、新たに柔軟性と投力の向上を目指し、補強運動（腕立て伏せ・腹筋運動・背筋運動・ジャンプ）、5分間走を継続して行い、柔軟体操やキャッチボールを取り入れて基礎体力の向上に努める。（一校一取り組み）
- ・ 競技のルールや特性を理解させ、生徒一人一人が自己の能力に応じた課題をもって、授業に取り組めるよう、学習ノート（プリント）の記入時間を授業計画に適切に取り入れる。
- ・ 体育分野においては、引き続き東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、オリンピック・パラリンピックに関する知識・理解を深めさせる指導を行う。また、各単元においても関連させながら指導していくことで、生徒の興味・関心を高める。
- ・ 保健分野で「保健・医療機関とその利用」「医薬品の正しい使い方」で病院の利用の仕方や医薬品の正しい使用方法についての理解を深めさせる。